



事業内容

農産物の生産・卸売・加工・販売
農作業受託

主な作物

○たまねぎ
○ブロッコリー
オリジナルブランド「島玉ねぎ」「島ブロッコリー」
として販売
○干したまねぎ
○はくさい
○米



こだわりPoint

たまねぎ・ブロッコリー・はくさいはひょうご安心
ブランドの認証を受け、低農薬・有機肥料で安心・
安全な野菜を生産しています。



スタッフ Interview

杉山 輝希さん(21歳)

神奈川県立かながわ農業アカデミー卒業後
2019年4月に入社しました。横浜出身なので、淡路
島の自然豊かな環境が新鮮です。たまねぎや葉物
野菜の栽培担当です。たまねぎの種をまき、育て収
穫する一連の作業の中で、収穫が一番自分の仕事
の成果を実感できて喜びを感じます。将来は学校の
友人たちと一緒に、独立就農する予定です。消費地
に近い埼玉県あたりになるかと思っています。

甘くて日持ちがする「島玉ねぎ」 循環型農業で育つ安全・安心、おいしい野菜

約7.5ヘクタールの畑で、たまねぎ・ブロッコリー・はくさいを栽培する「A&H」は、淡路
島の牛糞・鶏糞堆肥に加えて緑肥を使い、淡路島内での循環型農業を実践。「たまねぎ
は糖度が高く、しかも日持ちするよう工夫しました。甘さと保存性のバランスの良いのが
特色」と専務取締役・菱池崇さん。およそ30年前から栽培するブロッコリーとともに、オ
リジナルブランド「島玉ねぎ」「島ブロッコリー」として販売しています。ひょうご安心ブ
ランドの認証を受け、農場はJGAPを取得し、安心・安全な野菜づくりを続けています。地
域の農業を維持することにも注力し、農作業受託も行っています。

トップ Message

生産性を上げて地域農業を維持

専務取締役
菱池 崇さん

作物の持っている力を引き出す肥料の研究
に協力するなど、日々勉強することは多い
です。品質を向上させ、販売単価を上げ、生産
性を上げることが、これからの農業で大切な
こと。午前8時～午後5時の労働時間を決め、
ほとんど残業をなくすように心がけていま
す。農業は情報交換が大切なので、これが
しっかりできる人、農業が好きな人を求めて
います。



所在地

〒656-0411
南あわじ市倭文高337

TEL

TEL.0799-43-2323

HP

<http://www.aandh.jp/>

設立

2014年2月

資本金/売上高

300万円/4000万円

従業員数

社員4人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
年105日の休日設定(繁忙期・農閑期などシフトで休日取得)
スタッフ研修制度、独立就農支援制度あり
休憩室あり
家賃補助制度あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

農産物の生産・卸売・加工・販売
農業者の研修およびコンサルティング

主な作物

- たまねぎ
オリジナルブランド「絆たまねぎ」
- キャベツ
- はくさい



こだわりPoint

100年以上歴史のある淡路島のたまねぎを守り、さらに発展するため、農家のサポートと農業経営者の育成・支援に取り組んでいます。



淡路島の南部、三原平野に広がるほ場



淡路島で農業と経営を学び、社長を目指す 働きながらノウハウを覚え農業経営者に

スタッフ Interview

眞田 太介さん(39歳)

呉服業界で14年間働き、農業知識ゼロで2016年4月に入社。1年目から農業責任者として売上・経費・利益を管理するために、種子・肥料などの発注、人員の手配や人件費の管理を全て任せてもらいました。2020年11月に亡き兄の会社だった「Will Act」という社名を残したく、三田青果の分社として独立します。独立後も農業機械もそのまま使わせてくれ、ほ場も準備してくれるなど、手厚いサポートがありがたいです。これからは淡路島の農業の発展に貢献できたいと思っています。

「三田青果」は1965年(昭和40年)青果仲卸の会社として創業。2017年に生産部門を設立。「農家の高齢化と後継者不足のため、毎年作付けが減少する現状を打破するには農業経営者の育成が必須」(代表取締役・青山巽哉さん)と、働きながら農業経営を学ぶことができる会社運営をしています。農家の後継ぎのための修業や永年雇用を希望するスペシャリストコースと、淡路島で3年後に独立を目指すプロフェッショナルコースがあり、独立後は分社としてサポート。多くの農業経営者を育成・輩出することにより、日本の「農」をおもしろくしていきます。

所在地

〒656-0426

TEL/FAX

南あわじ市榎列大榎列328

H P

TEL.0799-42-2830 FAX.0799-42-6267

設立

<https://mita-onion.com/>

資本金/売上高

1993年1月

従業員数

300万円/2億5000万円

雇用環境

社員4人、技能実習生2人(ベトナム人)

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1日(日曜)、盆・正月休暇、有給休暇(10日)あり
スタッフ研修制度、人事評価制度、
独立就農支援制度あり
休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ

トップ Message

10年間で13人の農業経営者を育成したい

代表取締役

青山 巽哉さん

農業は、*良い野菜を作る=安定する。とは限りません。当然プロとしてよい野菜を作る技術・経験は大切です。しかし同じくらいに人(人件費)・物(機械類)・お金(備品経費)をどのように考え動かしていくかも大切です。私は農業でしっかりと経営できる経営者を輩出していくビジョンを持っています。もっと若い人に挑戦していただきたい。





事業内容

農産物の生産・販売
栽培コンサルティング
レストラン、カフェの運営
いちご狩り、バーベキューの運営

主な作物

○トマト
○いちご
○メロン

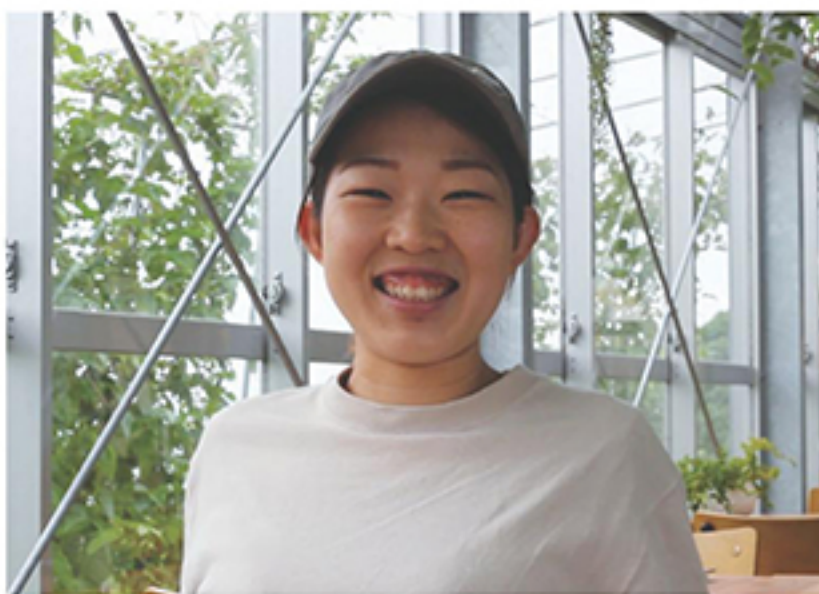


こだわりPoint

トマト・いちごの栽培を軸に、農家レストランを開業。農業、レストラン、カフェ、直売所と6次産業化を押し進めています



ハウス内の床に座ってくつろぎこともできる
いちごピクニック



スタッフ Interview

地主 守さん(31歳・写真左)

農産物の生産を行う栽培部の責任者として、栽培全般から従業員の教育、売上、経費管理まで、全ての責任を持っています。2015年の法人化を機に人材派遣会社から転職、入社しました。自分たちが作りたいいちご、トマトを「おいしい」と言ってもらえるよう、努力する農家(技術者)であり続けたい。

武井 風果さん(25歳・写真右)

2018年入社で、レストランカフェの店長です。メニュー設定や接客はもちろん、トマトハウスの手入れ、定植もします。夏にメロンを作ってもらって新メニューを考えるなど、栽培担当の人と意見交換できるのが、強みです。何事も楽しいと思ってやれる人に向いている職場です。

農業レストラン開業、アイデアあふれる事業を展開 多様な経験、多彩なスキルを持つ人材が力を発揮できる場

トマト農家としてスタートした「淡路の島菜園」は、2019年あわじ花さじき近くに農家レストラン「グリナリウム」を開業。以来、新感覚のいちご狩りや夏季のバーベキューを運営。2020年には築110年の醤油蔵をリノベーションし、カフェと直売所をオープンするなど、アイデアあふれる事業を展開しています。「貸別荘を利用する人が増えているので、ケータリングも事業化したい」と、代表取締役・大森一輝さんは新事業展開を視野に。トマト・いちご栽培技術の向上のため同業者と研さんも続けるなど、本業もしっかりと取り組んでいます。

トップ Message

仕事を楽しくて、自分で決める覚悟がある人集まれ

代表取締役

大森 一輝さん

従業員のほとんどは他業種からの新規就農です。仕事は農産物の栽培、接客、調理と多彩です。それぞれの部署では独立採算の考え方で責任者に運営してもらっています。経営する覚悟、自分で物事を決める覚悟を持ってほしい。個人の成長が会社の成長に繋がると思っています。やり抜きたいことがある人が、力を発揮できる環境です。



所在地

〒656-2311

TEL/FAX

淡路市久留麻2674-11

H P

TEL/FAX.0799-70-6463

設立

<https://www.greenarium.jp/>

資本金/売上高

2015年1月

従業員数

500万円/2億円

雇用環境

社員12人、パート23人

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1.5日のシフト制(時期により変動あり)
年2回長期休暇あり
休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ

